



**【主題名】 自己を見つめる**  
**【教材名】 「自分」ってなんだろう** (日本文教出版 2年)  
 内容項目【 向上心、個性の伸長 】  
 いの町立伊野中学校

「考え、議論する道徳」の授業づくりをめざして  
 ～道徳科における、「主体的・対話的で深い学び」の実現へ向け～

**1. 「考え、議論する道徳」の授業 (主体的・対話的で深い学び) に向けて**

**【本時のねらい】**

今の自分や他者の意見などあらゆる角度から自己を見つめ、自分らしく生きるために大切なことを話し合う活動を通して、自分の良さや弱さに向き合う大切さに気づき、よりよく生きるための実践意欲と態度を育む。

**【指導の要点】**

自己を見つめ、長所も短所も自分であると理解し、かけがえのない自己を肯定的に捉え、自己についての理解を深める。

**【主題に関わる児童生徒の実態】**

i-check の質問項目「自分には良いところがある」のiスコアは、全国iスコアとほぼ同じである。様々な行事を通して、集団を動かすことができるリーダーが現れだしている。しかし、まだ自分から行動できなかつたり、他者のために行動することができなかつたりする生徒が多い。理由としては、自分に自信を持つことができているため、行動に移すことができないのではないかと考えられる。

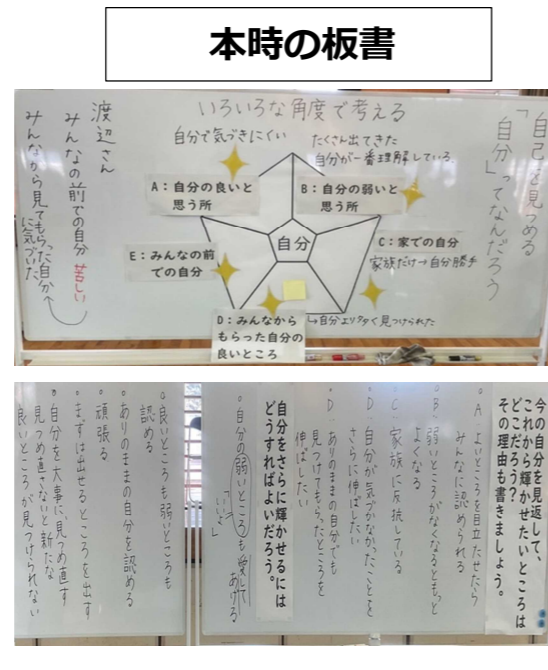
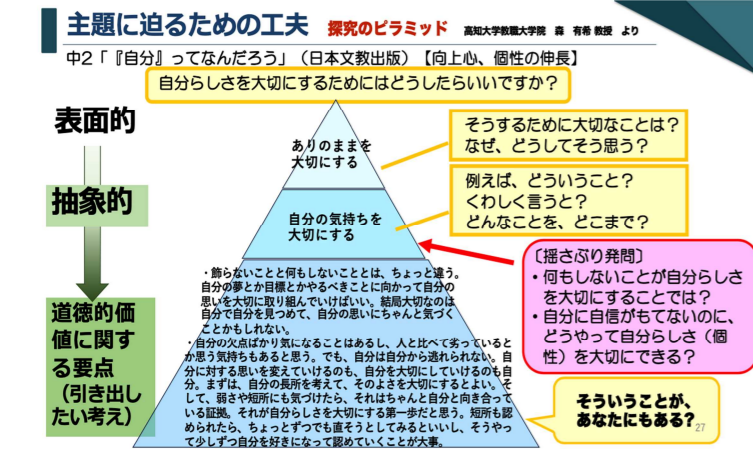
**【授業を通して引き出したい児童生徒の考え】**

- これまで、自分の良さに気づけていなかったが、友だちが教えてくれたことで自信がついた。このよさを生かして自分らしく生きていきたい。
- これまで、〇〇の部分が自分の弱さだと思って嫌だったが、みんなの意見を聞いてそれも自分らしさなんだと思った。自分の弱さも受け入れてこれからも生活していきたいと思った。
- 自分らしく行動することは不安であるが、友達と認め合って理解し合えば、自分を出すことが怖くないかもしれないと思った。

**引き出したい児童生徒の考えを具体的に想定することで・・・**

- 「最後に引き出したい児童生徒の考え」が明確であれば、それを引き出すために、「どんな発問や問い返し、揺さぶりをすれば良いのか」など手立てや発問をより具体的に考えることができる。
- ねらいがぶれにくくなる。
- 授業後には、「引き出したい児童生徒の考え」が記述や発言に現れていたか検証することで、授業改善を図っていくことができる。

**高知大学教職大学院 森有希 教授より**  
 子どもの思考を段階的に深めるイメージ図  
 教材研究会では、森教授より主題に迫るための工夫として、下記の「探究のピラミッド」のように、中心発問から「問い返しの発問」「揺さぶりの発問」を重ねることで子どもの思考を段階的に深める手立てが示されました。



**2. 「主体的・対話的で深い学び」への挑戦～「動と静の授業」の提案～**

主に学習過程の**前半部分**

教師主導ではなく、子供たちが能動的に活動する場面  
**〈主体的・対話的な学びへ〉**

**主体的・対話的**  
 本時での活動  
 ・自分の弱いところ、良いところを考える  
 ・友達から良いところを見つけてもらう  
 ・みんなの前の自分、家族の前の自分について考える

**活動的な場面の設定**

主体的・対話的な活動を行うために、  
 ・生徒が意欲的に活動できる学習展開の工夫をする  
 ・生徒同士が対話する場面を意図的に設定し、多面的・多角的に考える

子ども達の主体的・対話的な学びにつながる活動例  
 本時でいうと…「友達から良いところを見つけてもらう」

他にも…  
 ○討論 ○役割演技、ロールプレイ ○問題解決的な学習

討論や役割演技などの活動時間を確保するために、**発問を精選**し、子ども達がしっかりと考える**時間を確保**することが大切です

主に学習過程の**後半部分**

教師主導で、内容項目について、じっくりと考える場面  
**〈深い学びへ〉**

**深い学び**  
 本時の中心発問：自分をさらに輝かせるにはどうすればよいだろう？  
 ・弱い自分も受け入れる(問い返し例)  
 →自分の嫌なところなのに、簡単に受け入れられるかな？

深い学びへつなげるために、教師が「問い返し」や「揺さぶり」の発問を**意図的**に行い、**段階的に価値を深めていきます**。ここで大切なことは、問いの乱発をせず意図的に価値を深めることです。**子どもの思考の流れを想定しながら発問を精選し、意図的に子ども達の考えを深めていくことが大切**です。

**3. 深い学びへ向かうための働きかけ～中心発問からの問い返しや揺さぶり～**

授業研究会の事後協議では、教材研究会の森教授の手法を用いて、各グループごとに、中心発問から、どのような「問い返しの発問」や「揺さぶりの発問」を行い、引き出したい児童生徒の考えまで迫っていくのか考える演習を行いました。

**子どもの思考の流れを意識し学びを深める 4 Step**

中心発問	自分をさらに輝かせるにはどうすればよいだろう？	
Step①	児童生徒の反応	中心発問に対する予想される <b>児童生徒の反応を考える</b>
問い返し揺さぶり Step②	教師	Step①で考えた児童生徒の反応を <b>深める発問を考える</b>
Step③	児童生徒の反応	Step②で考えた発問に対して予想される <b>児童生徒の反応を考える</b>
問い返し揺さぶり Step④	教師	Step③考えた児童生徒の反応を <b>深める発問を考える</b>
	児童生徒の反応	引き出したい児童生徒の <b>考え</b>

中心発問から段階的に深めていく

主題に迫るための工夫 演習用ワークシート **Aグループ**

中心発問	自分をさらに輝かせるにはどうすればよいだろう？	
1 段階 (表面的) Step①	児童生徒の反応	自分の良い所を伸ばしていきたい
問い返し揺さぶり Step②	教師	「例えばどう思う？ どういうところ？ 詳しく教えて？」 「どうして伸ばしていきたいとおもったの？」 「良いところって伸ばしていたほうがいいの？ そのままではダメなの？」 「負けず嫌いでいい？」
2 段階 (抽象的) Step③	児童生徒の反応	「弱いのが悪いわけじゃない」 「そのままでもいい、そのままが自分らしさになる」
問い返し揺さぶり Step④	教師	「どうして？」 「弱い部分はなにもせずに置いておく？ 直す？ ○○はどうしたい？」
3 段階 (道徳的価値に関する要点)	児童生徒の反応	<b>【ゴール】</b> これまでは、〇〇の部分が自分の弱さだとおもって嫌だったが、みんなの意見を聞いてそれも自分らしさなんだと思った。自分の弱さも受け入れてこれからも生活していきたい

主題に迫るための工夫 演習用ワークシート **Gグループ**

中心発問	自分をさらに輝かせるにはどうすればよいだろう？	
1 段階 (表面的) Step①	児童生徒の反応	自分の良い所を伸ばしていきたい
問い返し揺さぶり Step②	教師	良いところを伸ばしたら、なりた自分近づくの？
2 段階 (抽象的) Step③	児童生徒の反応	よいところを伸ばすだけではだめだと思う。だから自分の弱さを克服したい。
問い返し揺さぶり Step④	教師	弱さを克服するのはしんどいけどできる？
3 段階 (道徳的価値に関する要点)	児童生徒の反応	一人では無理だけど、誰かの助けがあればできるかも。

**4. 伊野中学校の取組**

**対話的な活動の充実**

**組織的な取組**

日々の授業の積み上げ  
 (友達の考えと、自分の考えを比べながら聞く)

**構造的な板書 (3年団公開授業)**

授業者だけに任せず、学年団で協力し、本時の授業をつくりあげた

日々の授業では、ローテーション道徳を取り入れ、学年団全員で道徳の授業に関わり、授業力の向上を図った

生徒の思考の流れを構造的に板書し、価値の深まりが視覚的に捉えられるよう工夫した

